

中之口東小学校

河川が近く、度々水害にあった中之口地区。昭和30年ごろから、お米よりも水害に強い果樹栽培に力を入れてきました。河川のもたらした肥沃な土壌を生かして果樹栽培が盛んな「もも&ぶどう王国」です。

もも

主な品種は、白鳳、なつこ、なつおとめ、ゴールデンピーチなど。最近では、冬もおいしいももをつくらうと品種改良等に挑戦しています。

ぶどう

主な品種は、巨峰、オリンピック、ロザリオピアンコ、シャインマスカットなど、高級ブランドの品種を中心に育てています。なんと、皇室御用達のぶどうをつくっている農家中之口にあるのです。



4月 花粉付け体験

こっちが雄花、この箱の中が雌花です。虫の力だけでは足りず、人の手で、一つ一つ受粉させています。

筆で、雄花の花粉を一つ一つ雌花に付けていくんだね。全部に受粉させるのは、本当に大変な作業だね。



子どもたちが考えたキャラクター「ももピー」です。



5月 桃の袋がけ

ぼくの「ももピー」おいしくなってね。



ももピー、大きくなったね。

7月 わたしだけのももピー収穫

桃の実のサイズを計る機械「プンタ」が、何個詰めどの箱に入れるのかを音声で知らせてくれます！偉んだ桃は出荷できません。中之口で、県内最初に桃が栽培されたと言われてます。



7月 出荷の作業所を見学

すごい！秤がしゃべった！

桃箱の中の桃を傷めず大切に運ぶために、フルーツキャップやシートが使われるんだね。

5月 ぶどうの花を見学



ぶどうの花って緑色なんだね。



花が終わった後、豆粒大の実が大きくなる前に、いらぬ粒を取って、一房の重さと形を調整します。ぶどうの種類によって、肥料も剪定の仕方とも違います。



9月 ぶどうの収穫体験

落とさないように気を付けて、はさみを入れよう。

大きな巨峰！袋がけて、一房ずつ大切に育てられていたんだね。

子どもたちが考えたキャラクター「ぶどう王子」です。



11月 中之口のぶどうを使ったジャムづくりを見学
～すーいとふぁーむ(月湖)～



皮も丸ごと煮て手作りされているんだね。中之口のぶどうが、おいしいジャムになるんだね。

疲れる仕事だね。ハウスがたくさんあるから、枝を全部拾ってまとめるのは、たいへんだね。

11月 ありがとうの気持ちをこめて、一緒にぶどうの枝拾い

プラスチックのひもは、必ず取ってくださいね。



● 子どもの声 ●



ぶどうの栽培には、たいへんな苦労や工夫があって、それで中之口には人気のぶどうがいろいろできるんだなと思いました。自分で収穫した巨峰は、あまくて特別においしかったです。中之口の果物が、生で食べられるだけでなく、ドライフルーツやコンポートなどの加工品になって、いろいろな直売所でたくさんの人に買ってもらえることが分かって、うれしくなりました。



一人で100回百個もの袋がけをしたり、たくさんを収穫したりするのを30年間続けているのはすごいなと思いました。中之口の土地が肥えていて、桃の栽培に向いていたことも初めて知りました。手間をかけた分、桃がおいしくなると思いました。自分で名前を付けて袋がけた桃が大きく実っていてうれしくなりました。家で、家族みんなで食べたら、とてもおいしかったです。